



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 日東精工株式会社
代表者名 代表取締役社長 荒賀 誠
(コード : 5957、東証プライム市場)
問合せ先 取締役 財務戦略本部本部長 松本 真一
(TEL. 0773-42-3111)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、2025 年 5 月 13 日開催の取締役会において、持続的成長と中長期的な企業価値向上を図るために現状の再分析と認識の整理を行い、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応方針を決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 現状分析・評価

当社は 2024 年末時点で PBR1.0 倍を下回る状況にあります。この状況における課題は特に売上規模と利益率にあると捉えており、株価が低調に推移しているのも収益面での課題によるものと認識しております。

(単位：百万円)

	2022 年度実績	2023 年度実績	2024 年度実績	2025 年度予想
売上高	44,021	44,744	47,069	50,100
営業利益	2,931	2,614	3,326	3,600
ROIC	5.7%	5.3%	6.7%	
ROE	6.1%	5.5%	6.6%	
PBR	0.59 倍	0.59 倍	0.66 倍	

2. 現在の取り組み状況と今後の方針

2025 年までの中期経営計画期間中においては、売上規模の拡大および利益率の改善を通じた ROIC 改善、ROE 改善に特に注力します。また、経営資源の効率的な活用や適切な資本配分、投資家との対話を通じ、PBR 改善に取り組みます。

1) 売上規模の拡大および利益率の改善

現中期経営計画とのギャップを埋めるべく、各セグメントにおける資本効率性、成長性、利益率の分析に基づく施策を展開します。

2) 経営資源の効率的な活用と資本配分

現中期経営計画期間における 1 株あたり 18 円を下限とする累進配当や、余剰資金に応じた自己株式取

得を実施中であり、今後も継続して行います。また、投下資本回転率を高めるため、非事業資産の見直しや政策保有株式の売却などを通じた資産圧縮も実施しており、それにより創出した資金と営業 CF を元手に、株主還元と成長投資に適切に配分します。

3) 開示強化・ガバナンス強化および投資家との対話

将来の成長性に対する投資家の適切な理解を得られるよう、IR 活動強化やガバナンス強化、投資家との対話などの継続に加え、新規事業の進捗状況についても積極的に開示を行います。

なお、詳細につきましては添付資料「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について」をご覧ください。

以 上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

2025年5月13日

日東精工株式会社

NITTOSEIKO

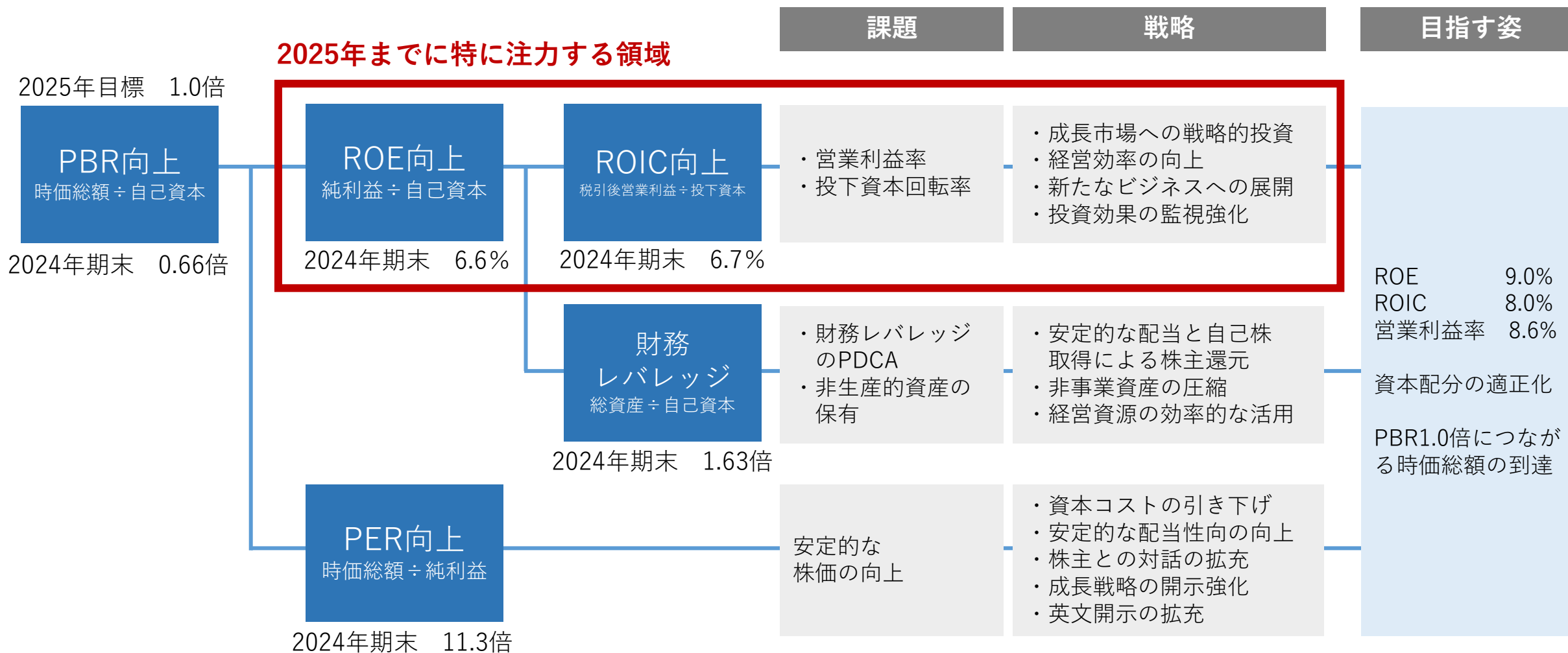
Taking new steps forward together



企業価値向上に向けた現状の再分析

NITTOSEIKO

2024年末時点でPBR1.0倍を下回る状況。特に売上規模と利益率を課題と捉えており、株価が低調に推移しているのも収益面での課題によるものと認識。本中期経営計画期間中の2025年までは、売上規模の拡大と利益率の改善に特に注力する。



2024年実績

目指す姿

2024年実績の分析

ファスナー

ROIC 5.0%

営業利益率 4.9%
投下資本回転率 1.5

※2023年金属製品業界平均：1.2

- 営業利益率 7.5%

- 営業利益率の改善
- 投下資本回転率は業界平均を上回るが、売上高規模が中計目標を下回る
→新規投資を伴う売上拡大が必要

連結合計

ROIC 6.7%

産機

ROIC 11.7%

営業利益率 17.2%
投下資本回転率 1.0

※2023年機械業界平均：1.1

- 営業利益率 20.9%

- 営業利益率の改善
- 投下資本回転率の改善
→現資産規模を維持しつつ
売上の拡大が必要

制御

ROIC 9.0%

営業利益率 9.9%
投下資本回転率 1.3

※2023年機械業界平均：1.1

- 営業利益率 4.9%

- 投下資本回転率の改善
→現資産規模を維持しつつ
売上の拡大が必要

※セグメント別ROICは運用サイド（投下資本＝運転資本＋固定資産）で算出

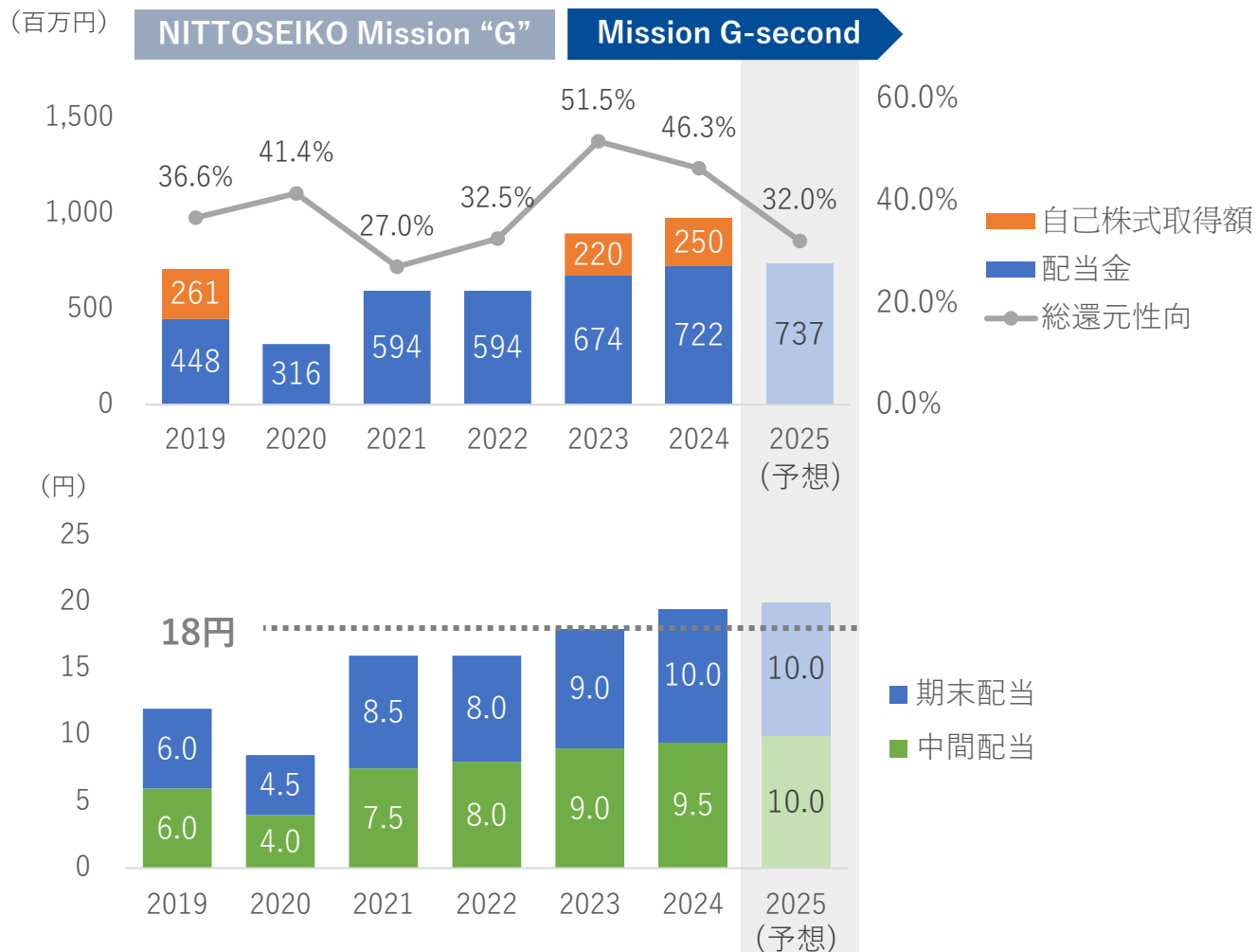
セグメント		2025年見通	2023年実績	2024年実績	売上規模拡大・利益率改善の施策（2023～2025年）	
全体	CAGR	4.4%	3.4%		- 非事業資産の圧縮による経営資源の効率的な活用 - M&Aによる売上拡大 - 価格転嫁による利益率改善	進行中
	ROS	+ 0.5pt	▲0.8pt	+ 0.4pt		進行中 実施済
ファスナー	CAGR	3.4%	2.2%		- 工場再編による原価低減、高付加価値製品の強化による利益率改善 - 複合部品（圧造＋切削加工品）の開発、提供 - インドM&Aによる生産強化と販路の拡大	進行中
	ROS	▲0.4pt	▲0.2pt	▲0.3pt		実施済 進行中
産機	CAGR	4.8%	1.0%		- 海外新拠点・新エリアへの拡販による売上拡大 - 協力会社の開拓による守備範囲の拡大と生産体制の強化	進行中
	ROS	+ 1.2pt	▲5.0pt	▲1.7pt		進行中
制御	CAGR	9.3%	12.8%		- 海外新拠点・新エリアへの拡販による売上拡大 - 継続した検査自動化へのアプローチ - 環境測定装置の国内外での安定供給 - 有機溶剤リサイクル事業への投資	実施済
	ROS	+ 4.8pt	+ 1.7pt	+ 6.9pt		進行中 進行中 進行中

※CAGR：2022年からの年平均売上高成長率／ROS：2022年比の営業利益率の増減

※メディカル新規事業については、上市に向けた取り組みを継続中につき、進捗状況に応じ情報を適宜開示予定。

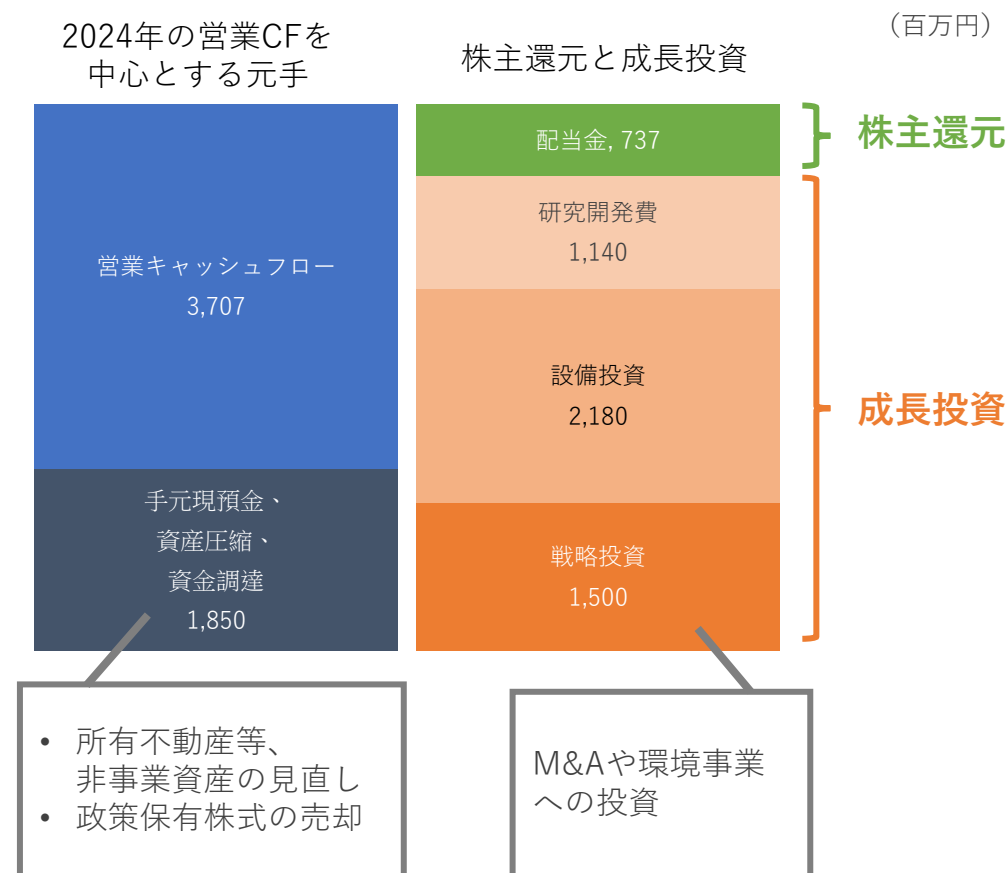
株主還元の実施

中期経営計画期間中の1株当たり18円を下限とする累進配当を実施中。
あわせて、余剰資金に応じ自己株取得による株主還元を実施。



経営資源の効率的な活用と資本配分

投下資本回転率を高めるため、非事業資産の見直しや政策保有株式の売却などを通じた資産圧縮を実施中。営業CFに創出した資金を加え、株主還元と成長投資に配分。



開示強化・ガバナンス強化

2022年

2023年

2024年

2025年

IR活動

決算情報サイトへの説明会動画・議事録掲載

統合レポートによる情報開示（2023年からはページ数増）

工場見学会

グローバルサイト公開

投資家との接点を増やし、価値創造の源泉となる非財務情報も開示することで将来の成長期待を高める（資本コストを低減する）方針。

ガバナンス

スキルマトリックス公表

役員トレーニング

新株式報酬制度（中計との連動）

グループ経営強化のため本部制へ移行

人権方針・
調達ガイドライン制定

より事業戦略にコミットする経営体制の構築を進める方針。

投資家との対話実績

	2023年	2024年	2025年（予定）
機関投資家向け決算説明会	2回	2回	2回
個人投資家向け説明会 （オンライン、近隣地域）	2回	2回	2回
IR工場見学会	—	2回	実施予定



投資家からの要望

工場見学会を開催してほしい

業績見通しについての詳しい説明や
注残推移の情報がほしいバランスシートの引き締めが必要で
はないか

NITTOSEIKO 当社の対応

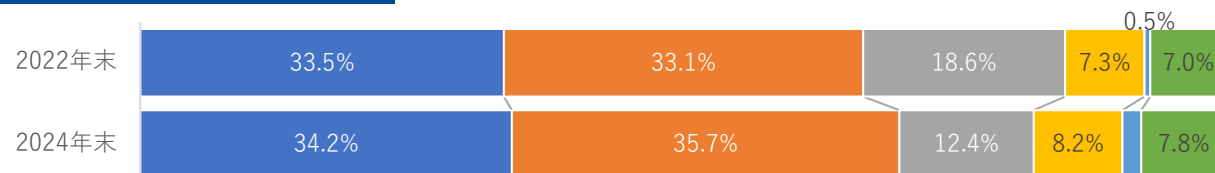
2024年4月に機関投資家向け工場見学会を開催

補足説明資料、決算説明会資料に順次追加

固定資産や不動産の見直し、債権債務の圧縮、自己株式取得による資本の圧縮などを取り組み中

株主構成の推移

持合株解消、IR活動強化により流動性が向上



※特に個人株主は5,725名→7,714名に大幅増

■個人 ■金融機関 ■国内法人 ■外国人 ■証券会社 ■自己株式

※発行済株式数に対する保有株式数の割合